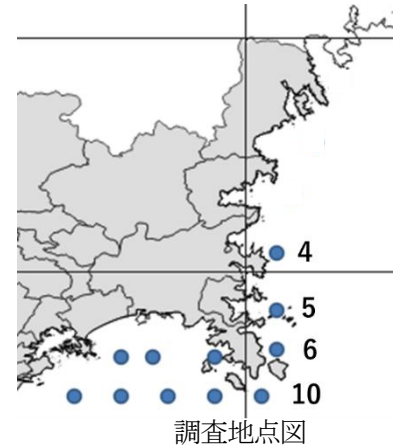


令和6年度 牡鹿半島周辺・以北_貝毒原因プランクトン出現状況 (NO.4)

令和6年7月12日
水産技術総合センター

- 1 調査月日 令和6年7月2日及び5日
- 2 調査地点 右図の4定点(St. 4, 5, 6及び10)
- 3 概要 (詳細は下表のとおり)
 - 1) 水温: 表層で18.9~19.6℃の範囲にありました。
 - 2) 貝毒原因プランクトン出現数
 - ・麻痺性貝毒原因プランクトン (*Alexandrium* spp.) が0~30細胞/L 確認されました。
 - ・下痢性貝毒原因プランクトン *D. fortii* が10~150細胞/L、*D. acuminata* が0~80細胞/L 確認されました。



調査結果表(4定点)

St.	日時 水深 (m)	透明度 (m)	表面水温 (°C)	貝毒プランクトン出現数 (細胞/L)							
				<i>Alexandrium</i> spp.		<i>D. fortii</i>		<i>D. acuminata</i>		他 <i>Dinophysis</i> 属	
				7月2,5日	6月7日	7月2,5日	6月7日	7月2,5日	6月7日	7月2,5日	備考
4	7月5日 10:40 84.5 m	7.0	18.9	10	60	150	30	80	30	70	<i>D. rotundata</i> 30 <i>D. tripos</i> 40
5	7月5日 9:59 33.0 m	10.0	19.1	10	130	70	30	30	30	90	<i>D. tripos</i> 90
6	7月5日 9:08 66.0 m	12.0	19.6	0	470	150	10	0	30	80	<i>D. infundibulus</i> 80
10	7月2日 11:05 85.3 m	8.0	19.0	30	260	10	10	0	10	10	<i>D. tripos</i> 10